

人類史上最悪な日から68回目の夏

第5回関西地青広島平和研修に参加!



8月5日から6日にかけて関西地本青年部主催「第5回広島平和研修」が開催されました。今年は、5日に行われた「連合2013平和広島集会」に参加しました。連合広島の石井会長は、「一発の爆弾で14万余りの人が亡くなった。今なお多くの方が苦しんでいる。核兵器廃絶のために運動を盛り上げて行く」とあいさつされました。その後、被曝者の坪井直さんから講演を頂きました。「20歳の時に被爆し、後遺症でガンなど多くの病を抱えている。あの時、夢と希望を持っている仲間が多く居たが一瞬にして壊された。ただ何もなくて14万人が死んだわけではない。原爆が投下された後、軍隊は子供や女性を後回しにして、戦争で役に立つ者しか助けなかった。それが軍国主義。人の命を取り合う戦争を絶対に許さない!一発の爆弾で生涯苦しむ戦争は許さない!」と体験した現実を語って頂きました。今、政府が考えている「戦争のできる日本国へ」を絶対にさせないためにたたかい続ける事を誓いました。

瞬にして壊された。ただ何もなくて14万人が死んだわけではない。原爆が投下された後、軍隊は子供や女性を後回しにして、戦争で役に立つ者しか助けなかった。それが軍国主義。人の命を取り合う戦争を絶対に許さない!一発の爆弾で生涯苦しむ戦争は許さない!」と体験した現実を語って頂きました。今、政府が考えている「戦争のできる日本国へ」を絶対にさせないためにたたかい続ける事を誓いました。

平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）に参列

8月6日に平和祈念式典が開催され、午前8時15分に一齐に黙とうを行いました。会場には世界各国から2000名以上が集まり、核の恐ろしさと廃絶を訴えました。人類史上最悪な瞬間から68年も経った今でも世界には20000発近い核爆弾が存在します。人間には全く必要のない武力を廃絶させるために、一人でも多くの青年部員に命の尊さや、世界に誇れる平和憲法を持つ「日本国憲法」の素晴らしさを知ってもらい、武力の無い平和で明るい未来をつくるため皆で声を上げ行動しよう!

